

学術集会提出用の学会録 (proceedings) の書き方
(企画講演用：特別講演・教育講演・招待講演・シンポジウム・
ランチョンセミナー・イブニングセミナーなど)

(2025 年改訂)

— 下記の要領でまとめてお送りください (学会最終日までに提出) —

- 1) 要旨は必ずしも必要ありませんが、テキストが長い場合 500 字以内の要旨をご用意ください。
- 2) 本文の構成ははじめに、目的、対象・方法、結果、考察、(結論あるいはまとめ)を原則としませんが、講演内容に応じて総説的に項目を挙げていただいて結構です。本文は 8,000 字以内でお願いします。
- 3) 文献は 30 個以内でお願いします。
- 4) 図・表は合わせて 6 個以内でお願いします。
- 5) 原稿には表題、著者名、所属名、住所、キーワード (5 つまで) を入れてください。原稿データは春恒社の登録システム【<https://www.sasj2.net/MAS/jpns/>】までお送りください。(提出、修正等に関する問い合わせ先: jpns-edit@shunkosha.com)
- 6) 図・表には必ず表題 (必要に応じて簡単な説明も) をつけて下さい。また、組織標本には染色法と必要に応じて scale bar をつけてください。写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとして下さい。写真はカラー掲載も可とする。
- 7) 図・表などの転載は、その旨を明記し、許諾については著者自身で行ってください。
- 8) 文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用個所には必ず肩番号をつけてください。また、文献には学会抄録は含まず、下記のように記載してください。学会発表の抄録や投稿中の論文などは引用しないでください。
- 9) 引用文献の著者氏名は、3 名以内の場合は全員を書き、4 名以上の場合は 3 名連記の上、「ほか」、あるいは「et al.」としてください。
- 10) 原稿が上記規定に添わない場合、修正が求められることがあります。掲載は無料ですが、規定ページ数超過分については所定の額を徴収します。また、希望により学会抄録をそのまま転用することも可能とします。

引用文献例

- 1) Michalsen A, Bock S, Lütke R, et al. Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.
- 2) Amirjani N, Ashworth NL, Watt MJ, et al. Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.
- 3) Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. In *Peripheral neuropathy*, 4th ed, ed by Dyck PJ, Thomas PK. Vol2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, pp1191-1206.
- 4) 平田 仁. 手根管症候群と肘部管症候群 病態, 診断, 治療. *臨床神経* 2007; 47: 761-765.
- 5) 寺崎久泰, 安東由喜雄. 腫瘍形成性局所アミロイドーシス. アミロイドーシスの基礎と臨床, 池田修一編, 金原出版, 東京, 2005, pp253-257.
- 6) Mucha C, 平澤泰介. 外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討. *Peripheral Nerve 末梢神経* 2009; 20: 7-16.